

和歌山県白浜町でトビ（タカ目，タカ科）が 生きたクマゼミ（半翅目，セミ科）を捕食

Milvus migrans (Accipitrida, Accipitridae) fed a living *Cryptotympana facialis* (Hemiptera, Cicadidae) at Shirahama Town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

南紀地方で夏季に出現するクマゼミ（半翅目，セミ科）の生体（久保田・田名瀬 1999, 2002）が，トビ（タカ目，タカ科）に捕獲された例を白浜町で記録した（久保田 2010）．今回，白浜町でクマゼミの生体がトビに捕食された例に遭遇したので記録する．

2016年7月7日18時30分頃，京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所“北浜”で，クマゼミの尋常ならぬ鳴き声が聞こえてきた．その方角を見ると，1羽のトビが飛翔しながら，足で（雄の）クマゼミを捕まえていた．そのトビは実験所構内の電柱の上に止まり，足で抑えてそのクマゼミを何度もついばんで摂食した（図1）．クマゼミの声は直ぐに途絶えた．

一般に，“北浜”では，トビが打ち上げられ魚類などの死体を食しているのを何度も目撃している．今回のような昆虫食，それも生体での記録は稀少例であろう．

引用文献

- 久保田 信・田名瀬英朋．1999．クマゼミの遅鳴きの最近の記録．南紀生物，41(1): 64.
久保田 信・田名瀬英朋．2002．和歌山県白浜町の海岸付近におけるクマゼミの初鳴き．南紀生物，44(2): 114.
久保田 信．2010．和歌山県白浜町でトビ（タカ目，タカ科）が生きたクマゼミ（カメムシ目＝半翅目，セミ科）を捕獲．KINOKUNI, (78): 13.

（くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所）



図1 京都大学瀬戸臨海実験所構内の電柱の上で生きたクマゼミを摂食し終えたばかりのトビ